

目次

提言の要約	1
第1章 はじめに	2
第2章 現状分析	2
第3章 課題	7
第4章 政策提言	8
1 機動力のある組織をつくる	8
2 次世代まで継続する防災教育を推進する	10
3 消防団と一体となった活動を推進する	12
第5章 終わりに	14

100年続け! 地域の防災

～自主防災組織の機能強化～

現状分析

- 1 阪神・淡路大震災を契機に全国的に自治会を中心とした自主防災組織の結成が進んだが、結成から相当な年数が経過し、組織の高齢化、活動の硬直化が進んでいる。
- 2 地域防災の要として、自主防災組織や消防団が組織されているが、その役割が明確になっていない。
- 3 東日本大震災を始め、台風やゲリラ豪雨による水害等、各地域における自主防災意識の気運は高まっているなか、改めて自主防災組織の機能強化が求められている。

課題

- ① 地域特性や高齢化社会に対応した組織づくり
 - (1) 主体性を持った組織づくり
 - (2) 活動要員の確保
 - (3) 活動に対する住民意識の高揚
- ② 防災意識の定着及び継承
 - (1) 地域での連携と自主防災活動の次世代への継承
 - (2) 魅力ある防災訓練の推進
 - (3) リーダーの育成
- ③ 消防団、行政等との協力連携
 - (1) 消防団との連携
 - (2) 消防団員の確保
 - (3) 行政の防災支援強化

政策提言

提言 1

機動力のある組織をつくる

- 防災基本条例による住民参加の制度化

効果 1

法的に位置づけることにより、全住民の意識が高まる

提言 2

次世代まで継続する防災教育を推進する

- 学校や自主防災組織における防災教育の充実
- レクリエーションを取り入れた防災訓練の実施

効果 2

知識と経験を持った人材が持続的に育成される

提言 3

消防団と一体となった活動を推進する

- 自主防災組織と消防団との役割の明確化
- 定期的な合同訓練の実施
- 日頃の啓発活動及び自主防災組織・消防団への加入促進

効果 3

地域の防災組織力、技術力の向上が図られる